

原爆文学研究会事務局

〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

福岡大学人文学部 中野和典研究室内

tel:092-871-6631 (代表) / e-mail:nakanok@fukuoka-u.ac.jp

第44回 原爆文学研究会のご案内

時下益々ご清栄のことと存じます。第44回原爆文学研究会を下記の要領で開催いたします。皆さまには、ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上お集まりくださいますようお願い申し上げます。

今回は通常の研究発表に加えて、映画「はだしのゲンが見たヒロシマ」の上映とそれについての対談も行います。会場・資料の準備の都合もありますので、参加をご希望の方は2014年2月22日（土）までに北九州高専・楠田剛士研究室（※詳細右下）までご連絡ください。

記

- 日時：2014年 3月 1日（土）13:00～18:30
- 会場：西日本総合展示場新館（AIMビル）3階 315会議室
（北九州市小倉北区浅野3丁目8-1 TEL 093-511-6848）
- プログラム
 - 12:30 開場
 - 13:00 開会・自己紹介
 - 13:15 研究発表1 坂井米夫『アメリカ便り』に見る原水爆と原子 坂口 博
—— 占領下NHKラジオ言説の一端
 - 14:30 研究発表2 被爆者表象の変遷：1950年代～1960年代のポピュラー文化をてがかりに 山本 昭宏
 - 15:45 (休憩)
 - 16:00 「はだしのゲンが見たヒロシマ」上映（約80分）
 - 17:20 (休憩)
 - 17:30 「はだしのゲンが見たヒロシマ」をめぐる対話
石田 優子・渡部 朋子・渡部 久仁子・楠田 剛士
 - 18:20 事務局より
 - 18:30 閉会
 - 19:00 懇親会

※ 上映会・対話について

過去、原爆文学研究会では多くの小説、詩、評論のほか、絵画やマンガや映画も取り上げられ論じられてきた。その中で記録的な表現については、誰を当事者とするのか、どのような形で記録するのか、記録されるとともに見えにくくなってしまふものは何か、など様々な問題が指摘されている。今回は漫画家・中沢啓治を取り上げた映画「はだしのゲンが見たヒロシマ」の上映会を行い、制作関係者と対話することで、ドキュメンタリーの表象について議論を行いたい。さらにマンガ「はだしのゲン」についても考え直す機会としたい。

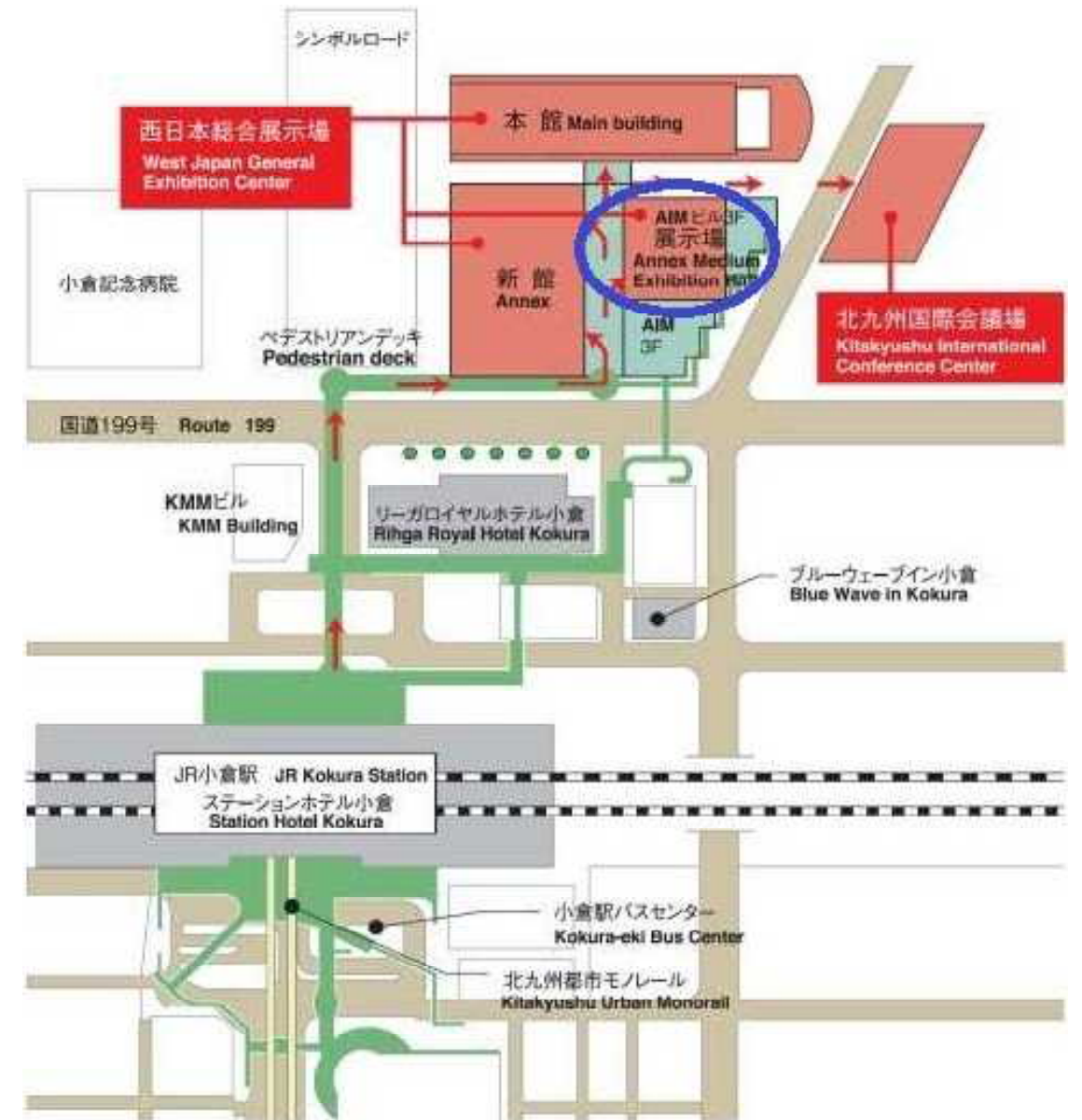
石田 優子（「はだしのゲンが見たヒロシマ」監督）

渡部 朋子（「はだしのゲンが見たヒロシマ」聞き手・企画者）

渡部 久仁子（「はだしのゲンが見たヒロシマ」製作プロデューサー）

楠田 剛士（司会）

会場のご案内



西日本総合展示場AIMビル3階315会議室

JR小倉駅（新幹線口）より北に徒歩5分

申込み先詳細

第44回原爆文学研究会への参加をご希望の方は2014年2月22日（土）までに eメールかお電話で下記までお申し込み下さい。

なお、申し込む際には、①「研究会」、②「懇親会」のそれぞれについて参加／不参加を明記してください。

【申込み先】

北九州工業高等専門学校総合科学科・楠田剛士研究室

eメール kusuda ● kct.ac.jp （※「●」を「@」に替えて送信してください）

電 話 093-964-7318